

S

かもしれません

じょうたいけい
S: 常体形。ただし、「Nだ N」「ANだ AN」

基本

例文

- ① A: この財布、だれのですか。
 B: もしかすると、田中さんのかもしれません。さっき何かさがしていましたから。
- ② 山の上は、朝、寒いかもしれないから、セーターを持っていったほうがいいですよ。
- ③ 一人で外国へ行くのは、ちょっと不安かもしれませんが、いい経験になりますよ。
- ④ A: 子供のころから医者になりたかったんですが、なれないかもしれません。
 B: どうしてですか。
 A: 医学部に合格する自信がないんです。それに、血を見るのがこわいんです。
- ⑤ A: 卒業したら、歌手になりたいと思っています。
 B: ご両親には、相談しましたか。
 A: いいえ、まだです。両親は反対するかもしれませんが、決心は変わりません。
- ⑥ だれも来ませんね。もしかしたら、時間をまちがえたかもしれません。

解説

- A. 話し手が、ある状況や出来事が起こる可能性がある」と推量したことを述べるときに使う。
 (例文①～⑥)
- B. 「もしかしたら」「もしかすると」といっしょに使うことがある。(例文①⑥)

先生へ

「かもしれません」は、疑問文ではふつう使わない。

「かもしれません」の過去形はここでは扱わない。

【関連項目】

活-05 常体形
文-42 でしょう

【「れんしゅう編」の練習】

17-4 高いかもしれません